

# 2019 スーパーFJ 富士シリーズRd.2 参戦報告



***Yota Nakatani***



**SIM Studio EG** Mey handmade accessories

# 富士スピードウェイ

3週間という比較的短いインターバルだったため、前戦の反省点を実戦ですぐ確認できるという点で高いモチベーションを保って臨むことができました。

しかし前戦は差をつけられての2位という悔しい結果でしたが第2戦には前戦優勝したドライバーはエントリーしていません。

そのためリベンジできない悔しさを感じてはいましたが、その悔しさを晴らすために予選、決勝共に2位以下に差をつけて優勝することを目標に第2戦のレースウィークを迎えるました。



## 5/10(金) フリー走行2本

今回は前日練習がレース当日前の1日しかなく走行枠も2本しかないので1ラップも無駄にしないよう心がけました。

1本目は前回のレースで使用した中古タイヤで走行。タイヤの空気圧を少し開幕戦より上げて走行すると気温、路温にマッチし良いフィーリングを感じました。

Best 1'55"00

2本目はフロントのアンチロールバーを少し柔らかくしてもらい、翌日の予選を想定してニュータイヤで走行。高速コーナーでマシンが安定するようになり、今までの富士での自己ベストを更新しました。

Best 1'54"58



## 5/11(土) 公式予選

予選前、前日の2本目のフィーリングがよかつたため  
フロントを更にもう少し柔らかく変更しました。  
燃料も軽くするため目標は53秒台に設定していました。

前日練習で2位以下にある程度の差をつけていることを確認していたので、他車に引っ掛かるのを避けるため先頭でコースイン。

序盤は後方のマシンが私のスリップストリームを使用していたため、あまりタイム差はありませんでしたが、徐々に引き離していき、最終的には2位に0.522秒差をつけてポールポジションを獲得。しかし目標の53秒台には届かず、納得いく予選にはなりませんでした。

Best 1'54"476 Position 1



## 5/11(土) 決勝

決勝は2位とのタイム差があるため、何事もなければラップごとに差を広げていき、楽な展開にできるだろうと考えていたため、コースイン前も、グリッドについていたあとも、すごくいい精神状態でした。

フォーメーションラップは路温が高いことと、他車にタイヤを温めさせないためハイペースで行いました。ブラックアウト後、スタートも悪くなく無難に1コーナーへ向かいましたが2位の36号車が、完璧なスタートを決め並びかけてきたため、マシン1台分のスペースを空けて1コーナーへ進入した途端、36号車が曲がり切れず私のマシンの右リアにヒットし、アップライトが割れてしまい、走行不能となりリタイアという最悪の結果になりました。 **Position 1→リタイア**



# ～まとめ～

今回は確実に勝たないといけないレースでしたがリタイアという結果に終わってしまい、応援・支援していただいた方々、本当に申し訳ございません。

昨年の日本一決定戦と違い、しっかり準備して臨みましたが、リザルトだけ見れば何も変わらないので、悔しい気持ち、辛い気持ちでいっぱいになりました。

しかしながら、シーズンが終わったわけではありません。何をしても結果は変わらないので、この悔しさを9月に開催される、第3.4戦のダブルヘッダーに全てぶつけます。

次戦まで4ヶ月と長いですが、その長いインターバルの間に更にしっかりと準備して、強くなって連勝できるようにします。

引き続きご声援・ご支援の程宜しくお願ひ致します!

